

平成21年度坂本公民館講座情報!

先月に続き、坂本公民館講座を紹介します。講師の先生方よろしくお願ひします。受講生のみなさん、楽しく続けて、友達をたくさん作ってくださいね。お問い合わせは坂本公民館 68-2001へ



満員御礼

季節を楽しむ寄せ植え講座



ほほえみくらぶ中3



ほほえみくらぶ中2

中津川市赤十字奉仕団坂本支部のお見舞い事業



中津川市赤十字奉仕団坂本支部（鈴木ひで子支部長）では在宅で70歳以上の寝たきりの方へのお見舞い事業として介護用手袋をお見舞い品として贈呈しました。今、坂本地区には48人該当の方がみえます。ご家族の方の介護も本当に大変だと思います。お見舞い品の介護用手袋が少しでもお役に立てばいいなあと思います。お見舞いの品は実際に寝たきりの方の訪問をしている民生委員さんに手渡され、民生委員さんが寝たきりの方のお宅に配布します。民生委員さん、ご苦労様ですがよろしくお願ひ申し上げます。

(写真は鈴木支部長さんから代表して見舞い品を受け取る幸協民生委員さん。)

坂本公民館を拠点に活動しているサークル紹介&会員募集中!

最初は坂本公民館講座としてスタートした「ペン習字」ですが、その後「ペン習字サークル」に移行して15年余り続いています。受講暦の長い者からまったくの初心者、若い者から若かった者まで幅広い仲間が集まって、日々鋭意努力を重ねて頑張っています。月に2回第1・第3木曜日の夜の教室を開いており「実用細字」をテーマに、自分の住所、氏名、家族の名前から、かな、漢字の基礎・短冊、色紙等の作品まで必要に応じて何でも教えていただけます。平成17年より講師として指導して下さる鈴木里美先生は年齢も若く、意欲的に皆を引っ張ってくださいます。続けることによる進歩は確実にあり、「継続は力なり」を実感しています。受講生は毎年多少の入れ替わりがあり15名程度の教室ですが新しい仲間のはじめは大歓迎です。



書いたら先生の所へ持っていきと丁寧に教えていただけます

☆公民館より
このサークルの昔若かった人の話はとても面白いです。和気あいあいの雰囲気がとても好きです。まずは見学してみませんか?お問い合わせは坂本公民館 68-2001へ

夏の交通安全県民運動 ご協力ありがとうございました

7月11日から20日まで夏の交通安全県民運動が実施されました。各種団体、区民のみなさんのご協力ありがとうございました。今年は「ゆずりあう心で 夏の交通事故防止」をスローガンに●飲酒運転の根絶●子どもと高齢者の交通事故防止●すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底を運動の重点に実施しました。中津川地区交通安全協会坂本支部では、街頭指導はもちろん、めぐみ保育園、坂本幼稚園、坂本保育園の園児に交通安全教室を開催し、「交通ルールを守ります」と約束してくれた子どもたちにシャープナー付の色鉛筆をプレゼントしました。ドライバーのみなさん、子どもたちは夏休みで開放的になっています。急な飛び出しもあるかもしれません。子どもを見たら安全運転を・・・



プレゼントした色鉛筆



めぐみ保育園にて



交通ルールを守ってね



坂本幼稚園にて



坂本保育園にて

交通安全協会坂本支部でカーブミラーを設置しました!



①ミラーの支柱を立てる穴を掘ります ③ミラーの上にミラーを付けます

②ポールを立てます ④これでどちらからもOK

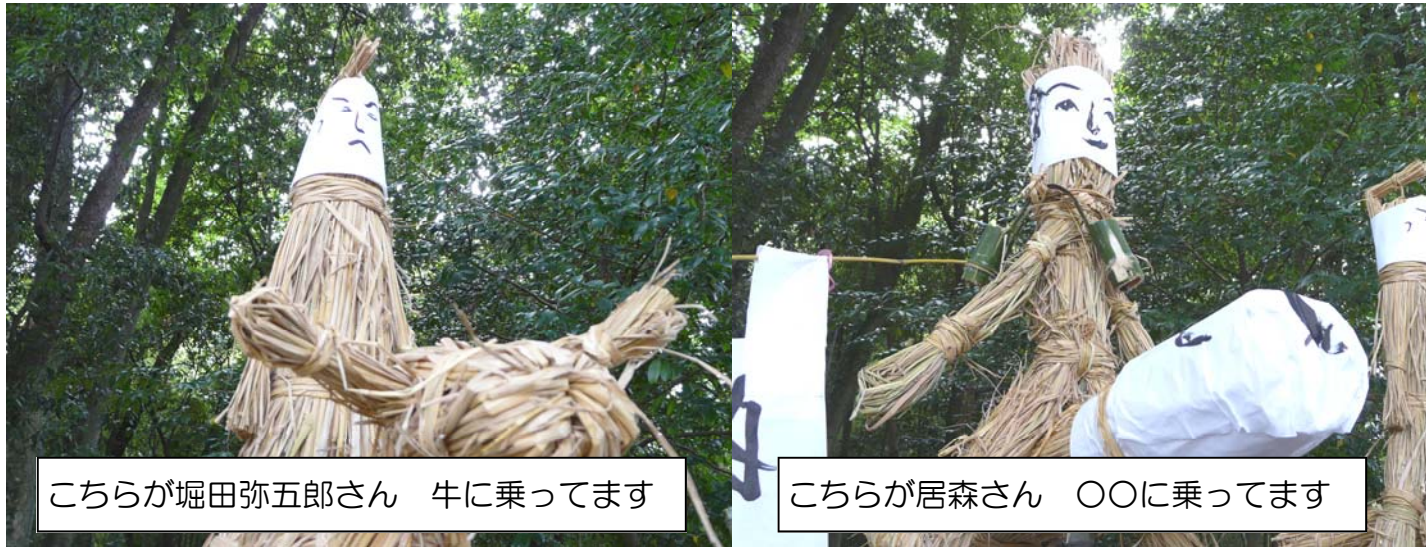
みなさん、坂本地内の道路はカーブミラーが他の地域の道路と比較して数が多いのにお気づきですか?

これは交通安全協会坂本支部が交通事故を1件でも少なくしようと、見通しの悪い場所や交差点などに積極的にカーブミラーを設置する事業に取り組んでいるからです。今回も交通安全県民運動期間中の7月19日に役員総出で4か所にカーブミラーを設置しました。左の写真でお分かりのように大変暑い中、手作業で行いますので汗だくです。それでも区民のみなさんの要望に応じて安全運転、安全走行ができるようになればとの思いで頑張っています。これからも交通安全協会坂本支部へのご支援をお願いします。また区民のみなさんから1世帯300円の協力金をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

うになればとの思いで頑張っています。これからも交通安全協会坂本支部へのご支援をお願いします。また区民のみなさんから1世帯300円の協力金をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

謎のわら人形 それは辻原に伝わる古くからの風習だったのです!

今月の広報さかもと1面の右下に、辻原と下洗井の境にある謎のわら人形のことを書いておきましたが、ここでその謎解きをしましょう。これは辻原に今も伝わる「虫送り」の風習なのです。「しあわせ会」の荻野隆三会長さんの話によれば、その昔、堀田弥五郎という悪代官(?)に苦しめられていた農民があるとき我慢できなくなって、堀田弥五郎を殺してしまいました。そうしたら村に疫病がはやりだした。これは堀田弥五郎のたたりだということで、村中一軒一軒、閉塞でお払いし、弥五郎殿と奥さんの居森さんのわら人形を作り御まつりし、白山神社から愛知県の津島神社までそれぞれの村がわら人形を送っていたそうです。荻野さん、間違っていたらごめんなさい。辻原の人たちはそれで、隣の下洗井の境まで「虫送り」をしてそこに置いていくのだそうです。下洗井のみなさん、次の中切に送らんでもいいですか?



こちらが堀田弥五郎さん 牛に乗ってます

こちらが居森さん ○○に乗ってます



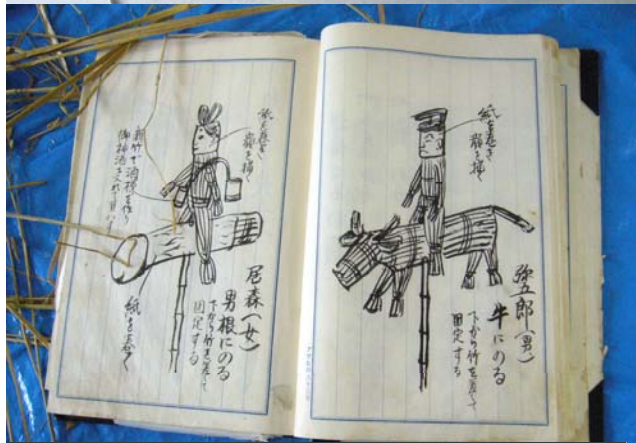
大人が準備します

「虫送り」には諸説あるようです。【江戸時代に始まった、夏に行われる行事。農作物の害虫は悪霊に寄ってもたらされるとし、そうした悪霊を追い払う行事。悪霊を藁の人形に移し、鉦や太鼓ではやしなから、村の田を一巡して村境に送り出す。】昔は虫による農作物の被害が多かったため、全国各地で行われていたようですが、現在は農薬が普及したので、急速にこの行事もなくなっていったとも言われています。辻原の虫送りの由来はすごく興味があります。確かに愛知県津島神社は堀田弥五郎正泰が創建したと伝えられ、神社の中には弥五郎社、居森社も祀られており、津島神社はそもそも疫病に神徳があるとされています。



子どもたちが「送り神道中唄」を歌いながら村境まで進みます

「虫送り」の風習が残っている辻原はすごいですね。だんだん日本人が日本のことを忘れていく、この現実がとても悲しいことだと私は思います。



辻原に伝わる「覚書帳」ここにわら人形の作り方などが詳しく書かれています。

瓦版平成21年8月号 (回覧板です)

さかもとマイタウン情報

編集・発行 地域のビタミン 坂本公民館

坂本体育協会主催 第17回インディアカ大会が開催されました。



開会式 やる気まんまんです

表彰式 ぐたくたです 敗因分析中



9チームが3コートで熱戦

インディアカ中津川ローカルルールの解説：必ず3回で返します



1回



2回



3回で返します



優勝：12-3区Bチーム



準優勝：第6区



第3位：12-3区Aチーム

7月5日(日)坂本北部体育館で第17回坂本区民インディアカ大会が開催されました。参加した9チームはまず3つのコートに分かれ、総当たりの予選を行います。予選の1位から3位がそれぞれまた順位決定戦を行います。どのチームも必ず4試合を戦うことになります。最後は体力勝負、消耗戦です。朝ごはんをしっかり食べてきたかどうか、水分の補給をしっかりしているかどうか、そのあたりが勝負の分かれ目・・・

だけど、やっぱりユニホームを揃えてきたところは強いですね。日ごろやっていますからチームワークもいい。なんとか、この12-3区を打ち負かすチームが早く出てこないか・・・みなさん、やればなしていいですか?来年こそ意地を見せてください。

12-3区のスーパーマンチームのみなさん、おめでとうございます。来年も手を抜かずに頑張ってください。

次は10月18日の区民運動会です。全地区の参加を期待しています。今から少しずつ体を動かしておくといいかも知れませんね。また、今年度も坂本体育協会に各世帯から300円の協力をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。